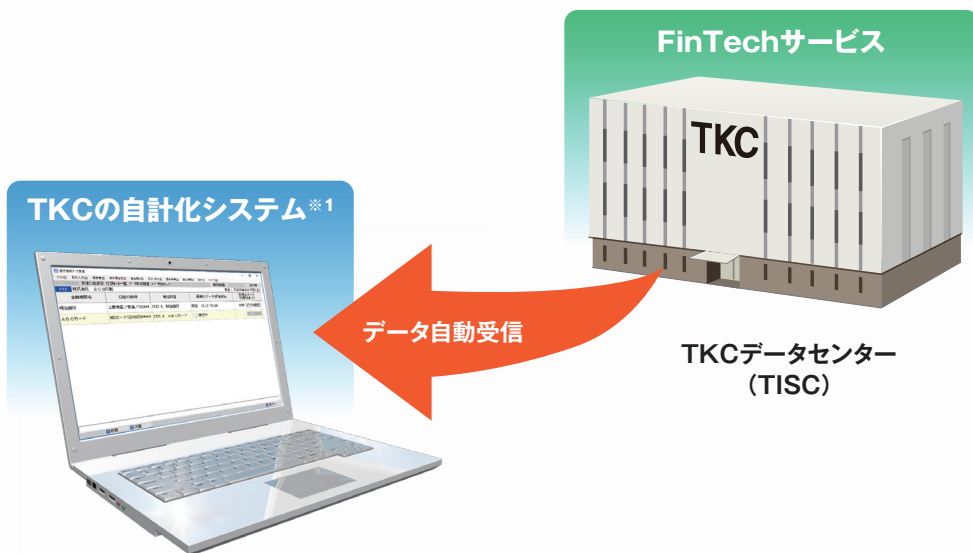


毎日の経理事務を省力化!

# 銀行信販データ受信機能

# 仕訳の4割は預金取引。 銀行信販データ受信機能を使って、 経理事務はもっと“ラク”にできる!

経理担当者は、複数の金融機関（銀行や信販会社）から、インターネットを利用して取引データを自動受信できます。さらに、その取引データをもとに仕訳ルールの学習機能を利用して仕訳を“かんたん”に計上できます。



※1 FX4クラウド、FX2、FX2個人事業用、e21まいスター、e21まいスター個人事業用

※2 モバイルSuica、nanaco、楽天Edy等

“簡単”“便利”なだけではなく、正しい記帳をご支援するTKCならではの

## TKCならではの特長

銀行信販データの自動受信機能

仕訳の二重計上防止機能

仕訳元の銀行信販データの確認機能

銀行口座の実際残高と帳簿残高の検証機能

## FinTechとは?

「金融 (Finance) 」と「技術 (Technology) 」を掛け合わせた造語です。  
ITを活用した革新的な金融サービスのことです。

インターネット  
バンキング  
(入出金明細)



電子マネー※2  
(支払明細)



クレジットカード  
(支払明細)



特長により、仕訳の漏れやダブリ、三重計上といった問題を解消できます。

消費税の記帳要件を完全遵守

仕訳ルールの学習機能

会計事務所によるサポート

万全のセキュリティ体制



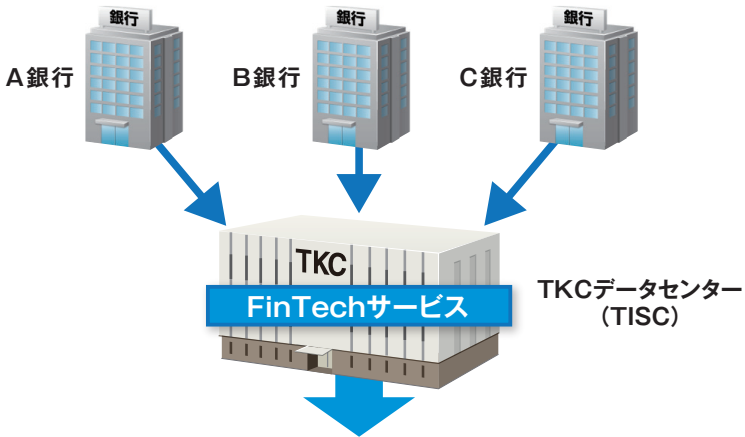
通帳記帳のためにATMや銀行窓口に並ぶのは手間も時間もかかる。  
インターネットバンキングを使っても複数の金融機関ごとに  
ログインして取引データをダウンロードするのは面倒…

TKCで解決!

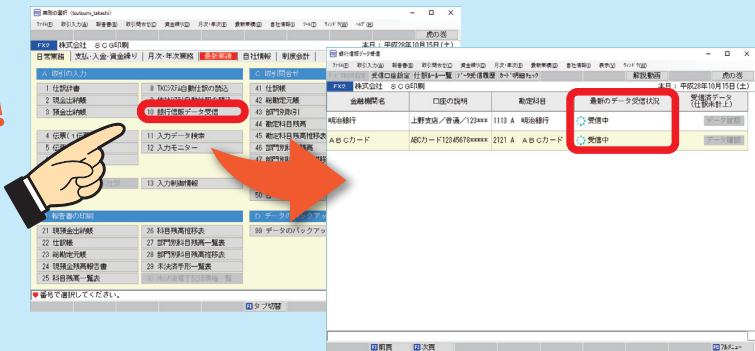
## 銀行信販データの自動受信機能



メニューボタンをワンクリックするだけで、複数の口座から最新の取引データを  
自動で受信できます。ATMや銀行窓口に並ぶ手間と時間を削減できます。



One Click!



ワンクリックで複数の金融機関から  
取引データを一括で自動受信できます!



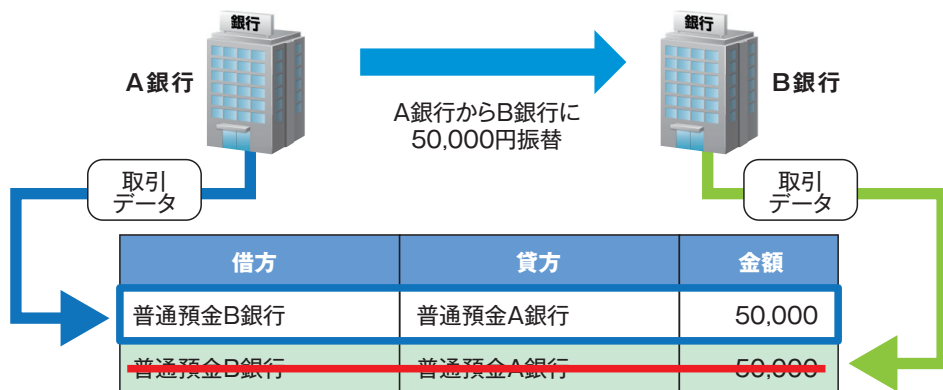
現金の預金預け入れや銀行口座間の振替のケースなど、仕訳の二重計上が発生する可能性があるって聞いたわ。どうか未然に防ぐ機能があれば…

TKCで解決!

## 仕訳の二重計上防止機能



銀行口座への預入、銀行口座からの引出、銀行口座間の振替取引など、受信した取引データとシステムに計上済みの仕訳を突合し、仕訳の重複を自動チェックします。



Check!

取引日	科目	借方	貸方	金額	勘定科目
10/5	振込金 - 銀行口座	68,890	12,240,076		
10/5	振込金 - 銀行口座	648	12,246,428	5,000	管理経費
10/5	振込金 - 銀行口座	23,100	12,223,328		
10/5	振込金 - 銀行口座	432	12,224,668	5,000	管理経費
10/5	振込金 - 銀行口座	428,703	11,795,976		
10/5	振込金 - 銀行口座	648	11,792,628	5,000	管理経費
10/5	振込金 - 銀行口座	65,024	11,682,552		
10/5	振込金 - 銀行口座	24,007	11,688,259		
10/5	振込金 - 銀行口座	249,915	12,130,074		
10/5	振込金 - 銀行口座	28,508	12,158,582		
10/6	現金	50,000	12,260,130	現金	明細銀行上野支
10/6	現金	50,000			
10/6	口座振替 - 銀行口座	180,472	11,629,007	6	法定簿利費
10/7	振込金 - 銀行口座	30,807	11,688,200		
10/7	振込金 - 銀行口座	12,215	11,685,915		
10/7	振込金 - 銀行口座	909,278	12,795,193		
①自社の振込額		12,807,470	13,027,470	金額①-②	-90,000 (二重計上)
②相手の振込額					

「日付」「金額」「勘定科目」をもとにシステムで自動チェックすることで、仕訳の二重計上を未然に防ぎます!



消費税の記帳要件をすべて入力するには摘要欄だけでは足りないし、入力漏れも心配。仕訳データを入力しながら法令にきちんと対応できる機能が備わっていたら安心なのに…

TKCで解決!

## 消費税の記帳要件を完全遵守



消費税法第30条「仕入税額控除」の記帳要件を完全遵守しています。専用の入力欄と入力漏れを自動でチェックする機能で、適法な帳簿の作成を支援します。

年月日	部門	借方科目	貸方科目	取引金額	税率	小切手番号	実際の仕入れ年月日	収支
伝番	課税	科目名	科目名	(内、消費税等)			取引先名 (仕入先の氏名又は名称)	
証番	事業	口座名	口座名	税抜き金額			元帳摘要 (仕入れ資産等の総称)	
28 10 11	000	6219	1113 A	8,874	8.0%		28年9月分	02 12
自動付番	5	水道光熱費	普通預金	657			宇都宮水道局	000042
			明治銀行	8,217			当月水道料	

二. 課税仕入れに係る支払対価の額

ロ. 課税仕入れを行った年月日

イ. 課税仕入れの相手方の氏名又は名称

ハ. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容

消費税法第30条第8項が定める記帳要件

- イ 相手方の氏名又は名称
- ロ 課税仕入れを行った年月日
- ハ 資産又は役務の内容
- ニ 支払対価の額

仕入税額控除を適用するための帳簿の記載要件を完全遵守しており、入力漏れもチェックします!



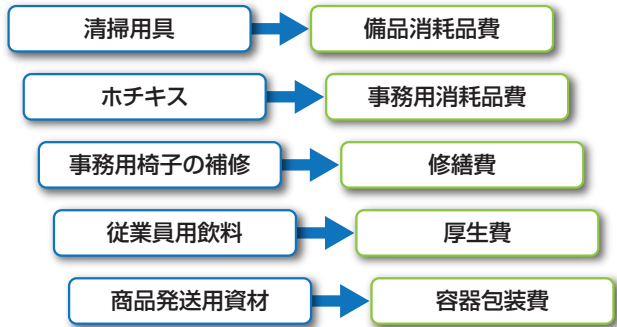
同じ取引先でも購入したのものによって勘定科目が違う場合があるはず。仕訳を自動計上すると誤った仕訳を無意識に生成してしまうかも。もっと効率的にミスなく仕訳を計上できたら…

TKCで解決!

## 仕訳ルール of 学習機能



仕訳計上時に補正した内容がシステムに学習されます。次回以降同種の取引データを読み込んだ際には、学習した仕訳を提示して入力をサポートします。自動で仕訳を計上せず、必ず仕訳を確認して計上できます。



Choice!

行	税	業	税率	相手科目	取引先名	元帳摘要	収支	部門	仕訳数
1	5	日付判定	0225	備品消耗品費	環状ホームセンター	清掃用具購入		0001	1
2	5	日付判定	8217	事務用消耗品	環状ホームセンター	ホチキス購入		0001	1
3	5	日付判定	0218	修繕費	環状ホームセンター	事務用椅子の補修		0001	1
4	5	日付判定	8228	厚生費	環状ホームセンター	従業員用飲料購入		0001	1
5	5	日付判定	6114	容器包装費	環状ホームセンター	商品発送用資材購入		0001	1

学習した仕訳ルールを一覧表示

♥条件に合致する仕訳が複数存在します。今回採用する仕訳を選択してください。

印刷 次頁 次頁 巻末

「仕訳ルール」はどんどん蓄積されていくので、利用すればするほど入力の手間が減り、効率的に入力できます!



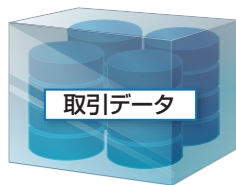
仕訳のもととなった取引データを確認したい。  
でも、仕訳と取引データの紐付けがされていないと仕訳から  
取引データに遡って確認できない…

TKCで解決!

## 仕訳元の銀行信販データの確認機能



仕訳のもととなる取引データをすべて保存しています。  
仕訳からその根拠となる取引データをいつでも確認できます。



The screenshot shows the TKC software interface. At the top, there's a menu bar with options like '77(F4) 取引入力(F4)', '報告書(F5)', etc. The main window displays a transaction entry form for '株式会社 S O G印刷' on '平成28年10月15日 (土)'. A pop-up window titled '取引先' (Counterparty) is open, showing details for '明治安栄銀行' (Meiji Yasuda Bank) and '口座の説明' (Account Description). The pop-up window has a 'OK' button at the bottom. A red arrow points to the 'F3 仕訳データ' button in the bottom toolbar.

元帳・仕訳帳から仕訳の計上根拠をすぐに確認できるので、  
会計帳簿の信頼につながります!





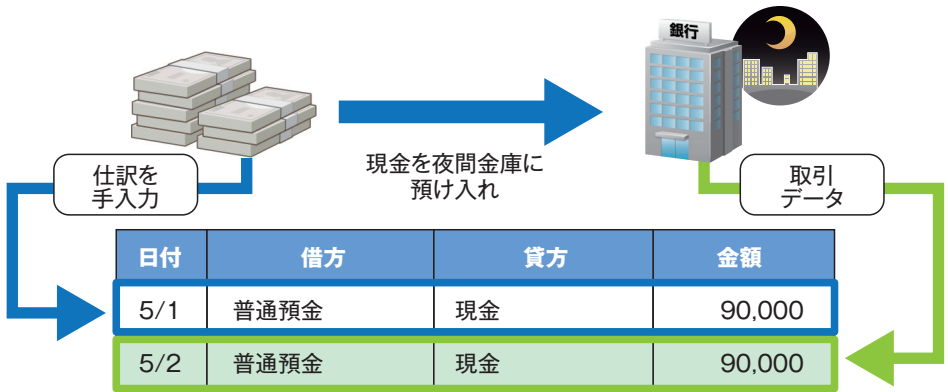
受信した取引データから計上される仕訳と手入力した仕訳。  
起票の日付が異なると同一取引であることを発見するのも困難だわ…

TKCで解決!

## 銀行口座の実際残高と帳簿残高の検証機能



銀行口座の実際の残高と、受信した取引データを全て仕訳計上した場合の帳簿残高が一致することを一目で確認でき、二重仕訳を除外できます。



Check!

項目	残高	帳簿残高	差額	
① 当等の残高 (10月12日11時04分時点)	12,837,470	② 当帳簿の残高 (10月12日時点)	13,027,470	差額(①-②) -90,000 (二重計上)

仕訳の二重計上を警告するメッセージも表示されるので、  
必ず預金残高と帳簿残高の一致を確認できます!



TKCの自計化システムには、二重計上や入力漏れを防止する様々な機能が搭載されているとは言っても、やっぱり正しく仕訳を計上できているか不安…

**TKCで解決!**

## 会計事務所によるサポート

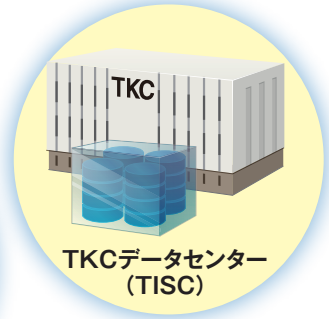


TKC会員事務所では毎月貴社を訪問する月次巡回監査を行っています。貴社で計上した仕訳内容を精査して、帳簿の正確性をTKC会員事務所が担保します。

1. 入力

2. 巡回監査

3. データ送信



1. 銀行信販データ受信機能等を利用し、貴社で適時に正確な帳簿を作成します。
2. TKC会員事務所が毎月貴社に訪問し、仕訳内容を精査します。  
監査後の月次データは、追加・修正・削除できなくなります。
3. 毎月TKCへ送信し、半永久的に安全に保管します。

**遡及的な追加・修正・削除を禁止したTKCシステムと月次巡回監査により、  
適時正確な帳簿を作成できます!**

**また、正確な会計帳簿は、信頼性の高い決算書につながります。**



インターネットに接続して口座情報を取得するなんて、セキュリティ面でちょっと不安かも…

TKCで解決!

## 万全のセキュリティ体制



TKCのFinTechサービスはTKCとマネーツリー株式会社(以下、マネーツリー)が共同で開発しました。貴社に安心してサービスをご利用いただくために、万全なセキュリティ体制を整えています。

TKCのFinTechサービスはTKCとマネーツリーが共同開発!



マネーツリーは、Apple社のApp Store BEST OF 2013・2014を2年連続で受賞した、個人資産管理アプリを開発・提供する会社です。

TKCとマネーツリーは、小規模事業者・中小企業の正確かつ迅速な経理業務の支援を目的として業務提携しており、FinTechサービスの技術開発に取り組んでいます。

### マネーツリーにおけるセキュリティ体制もご安心ください。

マネーツリーは、お客様に安心してサービスをご利用いただくために、以下のセキュリティへの取り組みを行っています。

#### 1. 金融情報システムセンターの安全対策基準に準じたインフラ

金融情報システムセンターは、銀行、証券会社、保険会社、コンピュータメーカー、情報処理会社等の出捐により設立されています。現在は633会員企業からの派遣者を中心に、金融情報システムに関連する諸問題の調査や、安全対策基準等の各種ガイドラインを作成しています。マネーツリーは、この安全対策基準に準じたインフラでサービスを運用しています。

#### 2. PCIデータセキュリティスタンダードを認定取得したインフラ

PCIデータセキュリティスタンダードは、カード会員のクレジットカード情報・取引情報を安全に取り扱うために、国際ペイメントブランド5社(VISA、MasterCard、JCB、American Express、Discover)が共同で策定した、クレジット業界における国際的なセキュリティ基準です。認定を取得するには、カード情報を適切に管理するための12の要件を充足する必要があります。マネーツリーは、この認定を取得したインフラでサービスを運用しています。

#### 3. 日本プライバシー認証機構のTRUSTeを認証取得

TRUSTeは、Webサイトを運営する事業者が、個人情報保護法よりも高い基準で個人情報を利用・保護していることを審査・認証する制度です。適合している事業者のWebサイトには、TRUSTeの認証マークを掲載できます。世界ではIBM、インテル、ディズニーなど6300のWebサイトで認証マークが掲載されており、マネーツリーもこのTRUSTeを認証取得しています。

## TKCのFinTechサービスは、TKCデータセンターから提供します!

### 日本初! ISO/IEC 27018 認証取得!

ISO/IEC 27018 (PIIプロセッサとしてパブリッククラウド内で個人情報を保護するための実施基準)は、パブリッククラウドにおける個人情報の保護に特化した初めての国際規格です。世界最高水準の情報セキュリティ対策や災害対策に加え、TKCの正社員が24時間365日の監視体制で運用しています。

<http://www.tkc.jp/company/tisc/>



## 銀行信販データ受信機能のご利用にあたって!

銀行信販データ受信機能のご利用の前に、まずは下記をご確認ください。

- 取引データを受信する口座が銀行信販データ受信機能に対応していること。

※TKCのホームページから確認します。



対応金融機関一覧の最新情報はこちら  
「金融機関・クレジットカード・電子マネー 一覧」

<http://www.tkc.jp/fx/fintech/bank>

- インターネットに接続できること。
- 銀行から受信を行う場合、インターネットバンキングを契約していること。  
※法人向けインターネットバンキングでの利用を推奨しています。
- クレジットカードの受信を行う場合、Web明細照会サービスに登録していること。
- 銀行信販データ受信機能では、マネーツリー株式会社が提供するデータ受信サービスを利用しています。このデータ受信サービスは、貴社の責任でご利用いただくサービスです。



銀行信販データ受信機能のご利用については、TKC会員事務所にご相談ください。

株式会社TKC

〒162-8585 東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル5F  
TEL:03-3235-5511  
URL:<http://www.tkc.jp/>

TKC FinTech

検索

2016.06